|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号※記載不要 |  |

○○○○

令和４年○月○日

経済産業大臣名　あて

* 共同申請とする場合は、連名とすること。

 東京都中央区○○丁目○ 番○ 号

 　○ ○ 船舶株式会社

 　　代表取締役社長　 環境 船次郎

 　印

令和４年度

「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（内航船の革新的運行効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査））」公募申請書

記

**１．補助事業の名称**

　○○○○○○○○○○○○○○○

* 「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（内航船の革新的運行効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査））」ではなく、事業の特性が明示された個別事業名を記載。

**２．目的及び概要**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

別添の「実施計画書」記載を踏まえ、ポイントを簡潔でわかりやすく記載すること。

**３．補助事業の実施計画**別添の「実施計画書」による。

１円未満は切り捨てとすること。

日本円で記載すること。

**４．補助金申請額（本年度分）**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）補助事業に要する経費 | 円 |
| （２）補助対象経費 | 円 |
| （３）補助金申請額 | 円 |

**５．補助事業の開始及び完了予定日**

　　　　　交付決定日～令和５年○月○日

* 令和５年３月３１日までの日付とすること。
* 実施計画書に記載したスケジュール表と整合させること。

以上

（別添）

# **AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金**

# **（内航船の革新的運行効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査））**

# **実施計画書**

|  |
| --- |
| **記載にあたっての留意事項　（提出時は削除）*** 数値は、小数点第二位まで記載し、それ以下は四捨五入すること。また、三桁毎にカンマを加えること。
* 専門家以外が読んでもわかるように、平易な記載及び丁寧な説明を心がけること。やむを得ず専門用語や略語を記載する場合は、その用語の解説等を記載すること。
* 申請書類中の用語の使い方や記載ぶりは統一させること。
* 計算に用いた数値について、注釈も踏まえつつ適宜根拠を示すこと。ただし、数値の根拠が不明確な場合等においては審査の過程で追加説明を求めることがある。
* 提出に当たっては、本留意事項、例示（赤字斜体部分）及び注釈（赤字吹き出し部分）は、全て削除すること。
* 経費が外貨で発生する場合、外貨の額を記載するとともに円に換算し、円の額も記載すること（補助金は円で支払うこととなる）。
* 写真、グラフ、図等を用いる場合は、その説明を記載すること。
* 「大幅な」、「優秀である」といった定性的な記載は避け、数値を用いて具体的かつ詳細に記載すること。
 |

* 「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（内航船の革新的運行効率化実証事業（標準的省エネルギー船舶開発調査））」ではなく、事業の特性が明示された個別事業名を記載。
* 公募申請書と一致させること

# **1.補助事業の名称**

　○○○○○○○○○○○○○○○

共同申請の場合、その全員について記載すること。

# **2.補助事業者の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 会社名 | ○○○株式会社 |
| 住所 | 〒○○○－○○○○　東京都千代田区○○○ |
|  | 最寄駅 | ＪＲ東日本　○○駅徒歩５分 |
|  |  |  |
| 担当者連絡先（主担当） | 住所 | 〒○○○－○○○○　東京都千代田区○○○　 |
| 所属・役職 | ○○株式会社　○○部　○○課　○○ |
|  | 氏名 | 船舶　太郎　（せんぱく　たろう） |
|  | 電話番号 | ○○○○（内線○○○）、○○○（直通）* 担当者を複数記載する場合は、主担当者が分かるように明記すること。
* 主担当者は、提案書に係る国からの指示に対する一元的窓口を担うものであり、事業全般の内容について、統括的対応が可能である者とすること。
 |
|  | FAX | ○○○○ |
|  | E-mail | ○○○○ |

# **3.　補助事業の目的・概要及び補助事業に係る船舶の概要・特徴**

* 半ページ以上を目安として記載すること。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 補助事業に係る船舶の概要・特徴として、当該船舶の現在の占有率等の現状がわかる記載とすること。

# **4.実施内容等**

* 各項目について、可能な限り具体的に記載すること。

　**4-1 実施内容**

　（ヒアリングの実施方法（ヒアリング項目・対象者など）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（標準船型の決定及び仕様変更されるケースの類型化に関する方法）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 想定される類型数についても記載すること。

（標準船型の開発方法）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 比較対象船舶から18%以上の省エネルギー効果を達成する為の具体的な技術改善要素について記載すること。

（水槽試験の設備及び実施内容）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（客観性・信頼性確保のための具体的方策）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（成果物とその作成方法）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 3D-CADデータの作成については、使用するツールの名称を記載するとともに、そのツールの概要が分かる資料を添付すること。

**4-2 比較対象船の概要と選定理由**

**4-2-1 比較対象船**（※１）**の概要）**

|  |  |
| --- | --- |
| 船名 | ○○ |
| 船種 | ○○ |
| 船舶所有者 | ○○ |
| 船舶運航者 | ○○ |
| 運航形態 | ○○ |
| 造船所 | 契約造船所：○○建造造船所：○○ |
| 起工進水就航改造 | ○○年○月○日○○年○月○日○○年○月○日○○年○月○日 |
| 総トン数（トン） | ○○ |
| 載貨重量（トン） | ○○ |
| 満載排水量（トン） | ○○ |
| 搭載車両数 | ○○ |
| 旅客定員数 | ○○ |
| 積載容積 | ○○ |
| 船の寸法 | L(長さ)= (m)B(幅) = (m)D(深さ)= (m) |
| 計画速力（ノット）（※２） | ○○ |
| 主機 | メーカー | ○○ |
| 型式 | ○○ |
| 航海中の使用燃料（A重油 or C重油） | ○○ |
| サイクルの別（2、4中、4低） | ○○ |
| 連続最大出力（kW） | ○○ |
| 回転数（rpm） | ○○ |
| 台数（台） | ○○ |
| 合計出力（kW） | ○○ |
| 連続最大出力時の燃費（※３）（g/kWh） | ○○ |
| 通常航海中の船内電力を賄うために必要な軸発の動力（kW）（主機が100%出力時） | ○○ |
| 通常航海中の船内電力を賄うために必要な軸発の動力（kW）（主機が75%出力時） | ○○ |
| 通常航海中に使用するボイラ等の出力（kW） | ○○ |
| ボイラ等の燃費（g/kWh） | ○○ |
| 補機 | 通常航海中の出力（kW） | ○○ |
| 連続最大出力時の燃費（g/kWh） | ○○ |
| 航海中の使用燃料（A重油 or C重油） | ○○ |
| 省エネルギー型スクラバー | メーカー |  |
| 型式 |  |
| 備考 | ○○ |

（※１）比較対象船舶は、2013年度に運航していた同じ船種・大きさの船舶であって、開発する標準的な船型の船舶との省エネルギー効果の比較の用に供する船舶として公正性があることを示すことができるものとすること。

（※２）主機連続最大出力から軸発出力分（主機が100%出力時）を控除した出力に負荷率0.75を乗じた出力時の平水中航海速力

(※３) カタログ値及びゆう度を記載すること

**4-2-2 比較対象船の選択について**

**①比較対象船の選択理由**

　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 例えば、補助事業に係る船舶と航路・船種が類似している等、その船舶選択の理由・妥当性を裏付けとともに記載すること。

**②比較対象船舶のエネルギー消費量等の水準**

　　　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 比較対象船舶のエネルギー消費量が2013年度に運航していた船舶の平均的なものであること等を数値を用いて具体的かつ詳細に記載。また、比較対象船の省エネ機器搭載状況等を記載。
* 同世代の船舶の選定方法やそのエネルギー消費量等についても記載。
* その他特筆すべき事項があれば適宜記載。

　　また、○○の値の計算過程は以下の通り。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* その計算過程を詳細に記載。数値等を用いる場合は裏付けとなるデータ・根拠を記載すること。

　　　 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**4-3 期待される省エネルギー効果とその評価方法**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 比較対象船舶から18%以上の省エネルギー効果を見込むことを前提に、期待される省エネルギー効果とその評価方法について、具体的に記載すること。
* 開発する標準船型及び当該標準船型から一部仕様を変更した船型、それぞれの省エネルギー効果の評価方法に言及すること。

**4-4 事業の波及効果（成果の普及方策、応用範囲・規模）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 想定される成果の普及方策及び、成果の応用範囲やその規模（台数など）を可能な限り具体的・定量的に記載すること。

# **5.実施計画**

##  **5-1　スケジュール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項目** | **補助対象** | **概要** | **○月** | **○月** | **○月** | **○月** | **○月** | **○月** |
| 仕様検討 | ○○ | ヒアリング類型の確定 |  |  |  |  |  |  |
| 船型開発 | ○ | 船型線図作成 |  |  |  |  |  |  |
| 検証 | ○○ | 水槽試験省エネルギー効果評価 |  |  |  |  |  |  |

* 費用内訳とスケジュールの対応がわかるように記載すること。
* 適宜項目は追加し、スケジュールの詳細をわかりやすく記載すること。

## **5-2　補助金申請額**

|  |  |
| --- | --- |
|  | **R4年度** |
| ①補助事業に要する経費 | ○○円 |
| ②補助対象経費 | ○○円 |
| ③補助金申請額 | ○○円 |

## 内訳については「添付 補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費の内訳等」参照

* 「添付　補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費の内訳等」により作成し、添付すること。
* １円未満は切り捨てとすること。
* 日本円で記載すること。

## **5-3　資金調達計画**

　　補助事業者名：●●●（共同申請の場合は、事業者毎及び合計額の資料をそれぞれ作成）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **R4年度** | **備考** |
| **補助金（円）** |  |  |
| **自己資金（円）** |  |  |
| **借入金(円)** |  | ●●●銀行 |
| **合計（円）****（補助事業に要する経費）** |  |  |

* １円未満は切り捨てとすること。
* 日本円で記載すること。

　（備考）

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

補助対象経費に関して、外国企業からの物品調達等において外貨での支払いが想定される場合は、換算レート（換算レートは、合理的根拠に基づいた、適切なものを使うこと。また、証憑書類を添付すること）、換算前の外貨の額等について記載すること。

# **6.実施体制**

* 申請者の体制のみ記載すること。
* 共同申請の場合、申請者間の関係がわかるように記載すること。

## **6-1　実施体制図**

○リース（株）代表取締役

○○○○

○船舶（株）代表取締役

[代表者]

○○○○

○リース（株）部長

○○○○

○船舶（株）部長

[統括責任者]

○○○○

○リース（株）課長

[担当者]

○○○○

○船舶（株）課長

[担当者（主担当）]

○○○○

上記体制図に記載がある事業者毎に作成すること。

## **6-2　各社の役割・概要**

**会社名** 　　○船舶（株）

**会社概要**

　○○年設立の内航海運会社（船舶貸渡業）。○○隻の船を保有している。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**補助事業における役割**

　　補助事業全体の統括を行う。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**会社の財務状況等**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

-----------------------------------------------------------------------------

**会社名 ………**

# **7.補助事業実施に関連する事項**

## **7-1　他の補助金との関係等**

この事業に係る船舶のうち○○の部分については、別途○○省の○○補助金の交付を申請中である。ただし、補助対象経費については、○○補助金は○○、○○補助金は○○と切り分けを行っているため問題ない。

* 本事業に関連し、国から他の補助金を過去受けていた、若しくは今後受けることを予定している場合又は補助金の申請を行い、若しくは検討している場合、その内容を記載すること。
* 他の補助金との関係については、補助対象経費の切り分け内容などについて具体的に記載すること。
* 特にない場合にあっては、「なし」と記載すること。

## **7-2　その他実施上問題となる事項**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 事業実施上問題となる事項がある場合、その内容と解決方法を記載。

以上

# **添付　補助事業費（補助対象経費）及び補助対象外経費、補助金申請額の内訳**（5-2関係）

補助事 業 名：

補助事業者名：●●●（共同申請等の場合は、全体の資料に加えて申請事業者毎の内訳資料を作成）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **区分** | **R4年度** |
|
| **補助対象経費** | **調査・開発費（円）** |  |  |
|  |  |
|  |  |
| **小計（円）** |  |
| **補助対象外経費（円）** |  |
| **消費税（円）** |  |
| **合計（円）（補助事業に要する経費）** |  |

・公募要領４ページ目６．補助金交付の要件（４）補助対象経費の区分の内容（人件費、旅費、会場費など）毎に補助対象経費を記載すること。

・行は適宜追加すること。

（備考）

* 調査・開発費については、○○という内訳である。
* ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
* 費用の詳細について記載すること。
* また、補助対象経費と補助対象外経費の切り分けを行っている場合は、その考え方や算出過程についても記載すること。
* 補助対象経費に関して、外国企業からの物品調達等において外貨での支払いが想定される場合は、換算レート（換算レートは、合理的根拠に基づいた、適切なものを使用すること）、換算前の外貨の額等について記載すること。
* 見積添付可能な経費については、適宜参考見積を添付すること。